

斐伊川住民意見発表会（出雲会場） 発表者および発表主旨、配付資料

１．発表者

発表番号	お住まい	発表主旨、配付資料
１	斐川町	P ２
２	雲南市木次町	P ５
３	雲南市木次町	P ６

２．発表主旨・配付資料

各発表者の発表主旨および配付資料を次ページ以降に添付

斐伊川の河川整備について
 私は現在斐伊川の支流久の川辺りに住んで
 います。生れは木次町下熊谷で朝夕斐伊川を
 眺めて暮らしてまいりました。祖母も明治十八年
 にここで生れ、子孫の頃斐伊川の工事が切られ熊
 谷の田圃は畑に変わってしまいました。そこの
 うちは食料、村と山との木の葉や草を食べて
 校にも行けず字も読めませんでした。今は工
 事の補強工事がたまたま良くなり、一丁が、も
 し工事が切れたら茅に山に向って走る様な云
 っていらす。尾原から出て来て水がどんどん流
 れてくるのか、かわかりませんが園地の住民とし
 ては大水が来る事前に知らせて欲しい事です。
 川は昔の様に水が多く流れ、奥や木々等
 自然の動物がたまたまいるのが望ましいです。
 明治、大正は下熊谷から木次へ舟で往来し
 ていました。今は水が少なくなり、っていらす。
 この水から先斐伊川の水は大丈夫だろうか不安
 です。水道用水、農業用水、実道湖、雲の良
 い水が欲しいです。一年一回は園地住民も川

藤原は斐伊川の水を良くとるが望ましい。田舎です。

斐伊川水系 雲南市木次町 斐伊地区周辺の水害対策について

1. 過去における災害水害状況について

斐伊川水系では、昭和 39 年災害・昭和 47 年災害・昭和 60 年災害など過去に大きな水害で大変な災害を受けてきました。

また、記憶に残るそれらの大きな水害でもない年にでも、本流斐伊川の支流の雲南市木次町斐伊地区の請川沿いでは、何度も水害による災害を体験してきました。

2. 請川改修事業について

上記のことから、斐伊地内の請川改修整備事業が昭和 49 年に着手され、平成 16 年に完成し今日に至っています。

現在では、非常に水の流れも良くなり、通常の雨では安心しております。

30 余年の年月はかかりましたが、これも国土交通省並びに島根県のご努力によるものと心より感謝申し上げます。

3. 今後の水害対策について

しかし、集中豪雨が各地域で多発しております、近年では平成 18 年の大洪水は記憶に新しいところです。

そうした以前とは違ったゲリラ的な集中豪雨を想定した場合には、斐伊川が増水し水位が上がりますと、当然支流の請川に逆流してまいります。

樋門を設置していただいておりますので、斐伊川の水位が上がる状況を判断しながら閉めてしまいますので流れが止まります。結果として請川沿いの斐伊地区は水だめ池の状態になってしまいます。

斐伊地域は、ホシザキ電気や三洋電機のほか企業が多く雲南地域の雇用の拠点でもあり、また商業や住宅が密集した地域でもあります。

樋門でしか調整の出来ない斐伊地域の現状をご理解いただき、更なる安心安全の観点からも、是非とも国土交通省の直轄管理部分(300m)の改修が必要と思いますので、直轄区間の改修と機械的排水(固定式によるポンプ排水施設)等の設置をお願いしたいと思います。